

「産業機械工業の環境自主行動計画」目標について

平成17年12月15日
環境委員会

1. 目標の変更について

第475回の理事会において、標記計画の目標値を原単位から二酸化炭素排出量に変更することが了承されたが、目標とする二酸化炭素排出量は、実態に即した係数を用いて算出するという観点から以下の通り変更することにした。

2. 変更内容

目標条文の但し書き部分（旧目標条文の下線部分）を削除する。

（旧）1997年度を基準として、2010年度の二酸化炭素の排出量を12.2%削減する。
（但し購入電力の二酸化炭素排出係数は1997年度の係数で固定して評価する）

（新）1997年度を基準として、2010年度の二酸化炭素の排出量を12.2%削減する。

3. 変更理由

購入電力の二酸化炭素排出係数を固定して評価することは、二酸化炭素排出量の外的変動要因を排除できることから、計画進捗状況を内部評価するには適している。しかし、購入電力の二酸化炭素排出係数の変動幅が大きく、二酸化炭素の排出量が実際と乖離しているため、国の定めた二酸化炭素削減目標との適正な比較が難しくなっている。

当工業会としては外部からの評価の公正さ・透明性の確保が最も重要であると考え、目標とする二酸化炭素排出量を、年度毎に発表される購入電力の二酸化炭素排出係数を用いて算出することとしたい。よって目標規定内の但し書き部分を削除する。

（参考1：購入電力の二酸化炭素排出係数）

	1997年度	1998年度	1999年度	2000年度	2001年度	2002年度	2003年度	2004年度
CO ₂ 排出係数 (t-CO ₂ /万kWh)	3.69	3.56	3.75	3.78	3.79	4.07	4.36	4.21
1997年度比 (1997年度が1)	1.00	0.96	1.02	1.02	1.03	1.10	1.18	1.14

（参考2：係数による二酸化炭素排出量の違い） 下段（係数年度別）が目標変更後の数値。

	1997年度 (実績)	1998年度 (実績)	1999年度 (実績)	2000年度 (実績)	2001年度 (実績)	2002年度 (実績)	2003年度 (実績)	2004年度 (実績)	2010年度	
									見通し	目標
CO ₂ 排出量 (万t-CO ₂) 係数固定	64.3	59.1	56.1	57.8	55.7	53.6	54.2	54.6	59.9	56.5
CO ₂ 排出量 (万t-CO ₂) 係数年度別	64.3	57.8	56.7	58.7	56.5	56.9	60.0	59.2	64.3	56.5

以上